

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度(令和2年度)	科目名	モバイル設計1	
科目基礎情報					
開設学科	情報処理科	コース名	モバイルアプリ開発コース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2単位	開講時間	金曜 5時限目～	授業形態	講義
教科書/教材					
担当教員情報					
担当教員	中西 真也	実務経験の有無・職種	有・システムエンジニア		
学習目的					
<p>本講義を受講する学生は、多量の情報をいかに整理し、わかりやすく人に伝えるのかをデザインするための基礎知識を習得する。情報デザインの歴史、情報リテラシーやモラル、情報デザインのアプローチ手法、ユーザ調査方法などを身近でより具体的なスマートフォンサイト事例について調査し、設計演習を通して知識の習得とともに実践力を養い、専門能力を習得する。スマートフォン、タブレット端末の所有率は年々増加しており、エンジニアにとってスマートフォンファーストの設計手法やレスポンシブデザインは必修スキルであると認知し、習得することが目的である。</p>					
到達目標					
<p>情報システムとは何か、また情報システムがどのように設計されているのか設計方法の理解を通して分析・評価能力を身に付ける。また、情報システムの設計を通して問題解決力を養う。本科目の学習を通して、ユーザ・ベンダ双方の立場から、企画・設計、実装・構築、運用・チェック、改善といった一連のサイクルについて理解できるようになる。</p>					
教育方法等					
授業概要	<p>本講義では、学生が情報を分類し、整理する手法を学ぶ。また色の表現、レイアウトが与える影響を知り、見せる工夫について考える。さらに最新のデザイントレンドを調査し、講義で得た知識を元にスマートフォンサイトのプロトタイプを作成し、発表する。学生が主体的に学ぶことができるよう、個人ワークやグループワークを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、講義を進める。</p>				
注意点	<p>本講義では学生の主体性を重視し、定期的に課題の提出を実施する。また、グループで考え、設計する作業があるため全員が積極的に参加し、時間内で効果的に作業を進める意識が肝要である。社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、講義中の私語や受講態度などには厳しく対応する。(詳しくは初回の講義で説明する。)理由のない遅刻や欠席は認めない。パソコン、教科書を忘れずに持参すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない。</p>				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画(1回～15回) 1回(2)時間 ※45分を1時間とする					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ガイダンス	カードソート(グループワーク演習)を通して、情報を分類し、整理する手法を身に付けることができる			
2回	用語を理解する	用語理解のためのレポート作成演習を実施し、用語を理解できる			
3回	図形要素の役割(1)	色の表現、色の分類 配色による印象の違いについて事例から活用できる			
4回	図形要素の役割(2)	第3回の知識をもとに色をデジタルで扱うことができる			
5回	グラフィックデザイン(1)	配置などの見せる工夫をオブジェクトのレイアウト演習を通じて習得できる			
6回	グラフィックデザイン(2)	スマートフォンサイトのUIについて、デザイン調査演習を行い、トレンドを習得できる			
7回	UX(1)	GWでスマートフォンサイト設計演習を行い、グループ間の意識合わせ手法を習得できる			
8回	UX(2)	GWでスマートフォンサイト設計演習を行い、今後の設計演習の方針を立てることができる			
9回	ペルソナ設定	GWでスマートフォンサイト設計演習を行い、ペルソナを設定する効果を学び活用できる			
10回	ユーザシナリオ	GWでスマートフォンサイト設計演習を行い、ユーザシナリオを考慮した設計の効果を学び活用できる			
11回	プロトタイプ作成(1)	GWでスマートフォンサイト設計演習を行い、プロトタイプを1/3以上完成させる			
12回	プロトタイプ作成(2)	GWでスマートフォンサイト設計演習を行い、プロトタイプを2/3以上完成させる			
13回	プロトタイプ作成(3)	GWでスマートフォンサイト設計演習を行い、プロトタイプを完成させる			
14回	発表	グループ演習で作成したスマートフォンサイトのプロトタイプを発表する			
15回	まとめ	プロトタイプ制作のまとめ、振り返りを行い、知識の整理ができる			